

「香川県立小豆島みんなの支援学校」が 令和5年4月に小豆地域に開校しました!

令和5年4月に、小豆地域で初となり、本県で9校目となる特別支援学校「香川県立小豆島みんなの支援学校」が開校しました。

本校は知的障害のある子どもたちが学ぶ特別支援学校で、小学部・中学部を設置しています。また、障害の状態により島外への通学等が困難な高等部該当生徒の学びの機会を保障する場として、香川県立香川中部支援学校高等部分教室を校内に設置しています。

子どもたちを地域全体でしっかりと育てようという小豆地域の良さを生かし、地域社会の人たちとのふれあいや隣接する池田小学校、居住地校等との日常的・継続的な交流及び共同学習を大切に、子どもたち一人ひとりが、自分らしくのびのびと学べる学校を目指していきます!

「香川県立小豆島みんなの支援学校」を
どうぞよろしくお願いいたします!!

令和5年4月より 特別支援学校の校名が 変わりました

県立特別支援学校8校において、「盲学校」「聾学校」「養護学校」を「視覚支援学校」「聴覚支援学校」「支援学校」とする校名変更を行いました。児童生徒等の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという特別支援教育の理念や特別支援学校の役割について、一層の理解が図られることを目指すとともに、本県における特別支援教育の一層の充実に努めていきます。

全国学力・学習状況調査が 実施されます

～令和5年度調査の概要～

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成19年度から毎年実施されています。(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止)

調査の目的(概要) 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

実施日 令和5年4月18日(火)

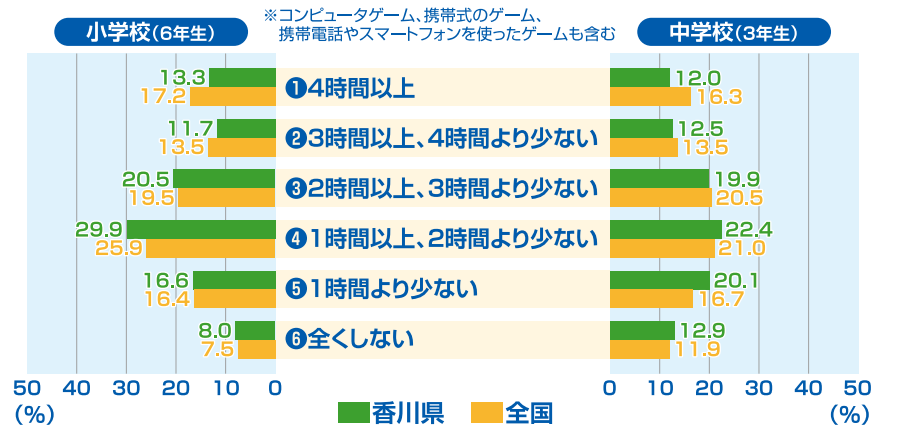
調査内容
小学校 国語、算数(各45分)、児童質問紙調査
中学校 国語、数学、英語(各50分)、生徒質問紙調査

令和5年度調査の特徴
中学校英語「話すこと」に関する調査は、ICT端末を活用し、オンラインの音声録音方式で実施されます。(4月18日から5月26日の間に、学校ごとに分散して実施)

貴重な
おうち時間を
どう過ごして
いますか?

【令和4年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査から】

Q 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、
テレビゲーム(*)をしますか?



調査結果によると、小・中学校ともに「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童生徒の割合が最も高く、4人に1人が「3時間以上」と回答しています。

小・中学校時代は、読書や運動、自然とのふれあいなど、いろいろな体験ができる大切な時期です。どのような時間の使い方ができるか家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

「課題解決型学習実践モデル校」を 新たに指定

モデル校で子どもたちの疑問を大切にし、それを解決していく中で、新しい知識や考え方を身に付けていくよう学びを推進します。

令和4年度
学力向上モデル校事業は
こちらで紹介して
います。

新学期を迎えて

新1年生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

上級生の皆さんも、新しい気持ちで新学期のスタートを切ったことでしょう。

本県の未来を担う子どもたちには、香川で育ったことを人生のゆるぎない礎として、自分の良さや可能性を見出し、夢と志を持って、学び、歩み続ける人に育ってほしいと願っています。

家庭は、教育の出発点です。安らぎの場であると同時に、社会で生きていくための学びの場でもありますので、ぜひ家庭での時間を大切にしていきたいと思えます。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

香川県教育委員会

県教育委員会では、学校教育の情報化をより一層推進するため、今年度、教育委員会内に「教育情報化推進室」を設置し、新たな推進計画を策定するとともに、小・中学校への支援としてICT活用のサポートを受けられる体制の整備や、県立学校への支援員の派遣などを行います。また、県立高校等の教室の空調経費を県費で対応するなど、様々な取組みを推進していきます。

なお、これらの施策の内容等については、県教育委員会ホームページの「令和5年度教育施策の概要」をご覧ください。▶▶▶